

リリースノート

アンプリファイドコントローラーリリースパック 2017-07-06 :

LA Network Manager 2.5

全般

- AVB ストリーム接続を目的として、LA12X および互換性を持つ LA4X に IEEE 1722.1 に基づく AVDECC コントローラーを搭載しました。
- AVDECC コントローラーをサポートする WinPcap インストーラーを搭載しました。(Windows 版インストーラー)
- プリセットライブラリー5.8 を搭載しました。
- オンラインヘルプのデザインを変更しました。

セットアップページ

- 入力モードセクター (LA12X および互換性を持つ LA4X) : AVB 入力およびフォールバック構成を含めて更新しました。
- セットアップチェック (LA12X および互換性を持つ LA4X) : N // = 1 レンジを更新しました。
- 最新バージョン以外のプリセットバージョンを含むセッションファイルロード時に警告メッセージを表示します。
- 特定のユニットがすでに別の LA Network Manager に接続されている場合、メッセージセンターにメジャーエラーとして表示しません。

チューニングページ

- ユニットコントロールパネル : L-DRIVE のゲインリダクション量を各出力レベルパーメーターの左側にリアルタイムで表示します。パーメーター上部の黄色リミット LED は 3 dB 以上のゲインリダクションを意味します。

ライブページ

- ユニットレベル履歴パネル
- ミュート中出力の名前を赤色で表示します。
- 出力レベルと L-DRIVE によるゲインリダクション量をリアルタイムで NOW 列に表示します。
- 直近 4 分間の出力レベルとゲインリダクション量をボタンで表示/非表示できます。

アンプリファイドコントローラー ファームウェア 2.8

- LA12X と互換性を持つ LA4X
 - 内蔵イーサネットスイッチは、最大 32 の AVB ストリームを転送可能・ラピッドスパンニングツリー (RSTP) 対応の Avnu 認証 AVB ブリッジとして機能します。
 - DSP カードは、1 つの AM824 ストリーム (48 kHz または 96 kHz にて 1~16 の任意の数のチャンネルで構成された) に対応する AVB リスナーとして機能します。
 - 入力セッティングメニューの新しいアイテム
 - XLR と AVB 入力を切り替える ABCD INPUT SOURCE セクターを設けました。
 - AVB に障害が発生した場合のフォールバックを構成する AVB FALLBACK MODE を設けました。
 - 入力チャンネルを選択する AVB STREAM MAPPING を設けました。
 - MONITORING & INFO 内に AVB CLOCK STATUS 情報を表示します。
 - スパニングツリー機能を OPTIONS に設けました。
- 新しいプリセットライブラリー 5.8
- LA4X / LA12X のファームウェアバージョンを LA4 / LA8 とそろえました。

詳細はダウンロードパッケージに含まれている製品マニュアル (LA4、LA4X、LA8、LA12X) を参照してください。

プリセットライブラリー 5.8

- 新たな Syva システムプリセット :
 - [SYVA] SYVA セグメントソース用
 - [SYVA LOW_100] Syva Low サブウーハー用
 - [SYVA SUB_100] Syva Sub サブウーハー用
 - [SYVA LOW SYVA] Syva + Syva Low 用 (ハイブリッドプリセット)
- Kiva II、X8、X12、X15 HiQ プリセットを更新 : トランスデューサーのオーバーエクサクションに備えてプロテクションを改善しました。
- セットアップチェック : Kiva II、12XT パッシブモードにおけるプリセットマッチングの基準を更新しました。

詳細はダウンロードパッケージに含まれている**プリセットガイド**を参照してください。

修正した問題

LA Network Manager

全般

L2-959	AES/EBU Unlock CLEARED が存在していない。
L2-1040	カスタムプリセット名に/または¥を用いると、この記号よりも前の名前で作成されてしまう。
L2-2041	ソフトウェア上の数字キーボードを有効にしていると IP レンジを 192.168.1.x から 172.16.1.x に変更できない。
L2-2212	すでにフロントパネルにエラーが表示されているユニットをワークスペース上に追加した場合にメッセージセンターにエラーメッセージが表示されない。
L2-2284/2288	マルチプルセッションまたはセッションが存在しないケースでリストアセッションを実行するとクラッシュする。
L2-2301	DNS Resolution が Fails に設定されている MacOS 10.12 Sierra において LA NWM をオンラインモードで起動すると、Ping プログレスバーがスタートせずに "Cannot scan..." が表示されて起動完了に 1 分かかる。
L2-2329	ネットワークからフィジカルユニットを追加 : グループパラメーターがクリアされた後、数秒後にミュートが適用される。
L2-2378	メッセージセンターに Windows 10 を Windows 8 と表示してしまう。

セットアップページ

L2-2389	Load Checker を終了しようとするクラッシュする。
---------	--------------------------------

チューニングページ

L2-2011	ワークスペース上のリソースインジケーターが瞬時に更新されないケースがある。
L2-2012	リソースビュー : 出力チャンネルの表示色とリソースインジケーターに不整合がある。
L2-2302	ユニットコントロールパネル : 再接続時にオーディオレベルが表示されない。
L2-2374	グループパラメーターをペーストした際に +6dB 警告が表示されない。

ファームウェア

F1F-455	LA4X のパワーボタンを押しても起動しない場合がある。
F1F-671	LA12X : 該当するエラーが無いにも関わらず "Unit Service Required" のメッセージが時々表示される。
F1F-818	スタンバイモード時にセッションのバックアップが無効。
F1-928	"LF PA" と "SR SB" のチャンネルセットが認識されない。

履歴

6600	信号を送り込んだままの状態ユーザーパラメーターをキープしたままプリセットをロードすると、ノイズが出るケースがある。
L2-2100	特定のキーボードで CTRL + ALT + L ショートカットが機能しない。
L2-2093	OS X において CMD-ALT-L でデスクトップ上にログが作成されない。
F1F-578	動作中のシステムが常にフォールバックモードでスタートする。
F1F-540	信号を送り込んだままの状態でレイテンシーモードの切り替えが実行されるプリセット（出力がアンミュート）をロードすると、ノイズが発生する。
F1F-605	LA12X のレベルレポートが時々粗くなる。
F-570	LA4X/LA12X : コネクターの共用と AES 信号安定度判断の 500m が原因となり、AB の入力モードをアナログから AES/EBU に切り替える際に自動フォールバックがトリガーされる。(自動フォールバックが設定されている場合)

既知の問題

LA Network Manager

全般

L2-850	Windows XP または 7 のリモートデスクトップを使用時に、その接続が切れると NWM と全てのユニット間の接続が切断されます。回避策：Windows 8 または 8.1 を用いるか、VNC・TightVNC・Team Viewer などのアプリケーションを用いてください。
L2-1385	L-NET ネットワーク上に同一のサブネットに設定した NIC を複数接続しないでください。
L2-2356	T または L のキーボードショートカットを使用してセットアップページからチューニングまたはライブページに切り替えると、ユニットコントロールバーが開いたままになる。
L2-2356	LA NWM が動作している Windows 10 PC にてオーディオプレーヤーの音が途切れるケースがあります。アンプの IP アドレスを連続させ、オプションからスキャン IP レンジを限定することで状況が改善されます。
L2-2358	LA NWM の AVDECC 1722.1 コントローラーが PC のウェイクアップ後に LA NWM の offline と online のサイクル（切り替え）を要求することがある。
AVDECC-5	MacOS において、LA NWM AVDECC 1722.1 コントローラーはホストコンピューターの AVB エンティティを検知できない。

VNC は RealVNC Limited の商標であり、欧州連合（EU）、米国およびその他の管轄区域における商標登録および/または係属中の商標出願によって保護されています。

TeamViewer は TeamViewer GmbH の登録商標です。

セットアップページ

L2-234	ユニットマッチャー上で複数のバーチャルユニットの IP アドレスをまとめて変更する場合、移動元と移動先のセルが重複していると移動できない。
L2-1644	スタンバイユニットが PIN プロテクションを表示しない。
L2-1918	ファクトリープリセットが選ばれているユニットをファームウェアアップデート：好ましいユーザープリセットメモリーへの振り分けが考慮されない。
L2-2057	ユニットマッチャーからの IP アドレス変更が正常に適應されないケースがある。
L2-2412	カレントの AVB コンフィグレーションが時々正しく初期化されない。

ファームウェア

F1F-110	高いレベルの信号を入力すると、信号の入力を止めても SIGNAL LED が点灯しつづけるケースがある
---------	---

推奨事項

ネットワークセットアップ

- Ethernet デイジーチェーン接続を用いる場合、LA4X/LA12X の下流に LA4/LA8 を接続してください。
- AVB ドメインの作成には AVB ブリッジのみを使用します。
- LA NWM のネットワークに接続するコンピューターは **1 台のみ**とします。(複数のコンピューターを同時接続しないでください。)
- LA NWM が動作するコンピューターとユニット間には有線接続してください。WiFi 接続よりも安定して動作します。
- LA NWM から AVB をコントロールする場合は必ず有線接続してください。
- より優れたパフォーマンスのために: 1 Gb/s のイーサネットを用い、アンプリファイドコントローラーの IP アドレスを連続させてください。(LA NWM の IP スキャンレンジを狭くします。)
- 1 台のコンピューターから WiFi と有線を同時に LA NWM のネットワークに接続するとユニット検出に障害が発生する可能性があります。Windows のコントロールパネルにある「ネットワークと共有センター」から、どちらかを無効化してください。
- Windows 8 未満に搭載されているウィンドウズ リモートデスクトップ機能は使用しないでください。Windows 8 未満でリモートを行う場合には、VNC、TightVNC、Team Viewer などのアプリケーションをお使いください。
- L-acoustics ユニットのモニタリングやコントロールは専用ネットワークを用いてください。他のデバイスとネットワークを共有する場合、コミュニケーション コンフリクトを避けるために、L-acoustics ユニットの割り当てた IP アドレスとは異なるアドレスを他のデバイスに割り当ててください。

互換性

ファームウェアバージョン

- 全てのユニットが同じファームウェアバージョンで動作していることを確認してください。
- 最低でもファームウェアバージョン 2.8.1.6 で動作させてください。

カスタムプリセット

- 本バージョンで作成したカスタムプリセットは、以前のバージョンの LA NWM では使用できません。
- プリセットバージョン 1.x または 2.x で作成したカスタムプリセットはプリセットバージョン 3.x 以上で**必ず**作りなおしてください。

セッション

- LA NWM 1 で作られた .system ファイルは、このバージョンの LA NWM では開けません。新しくセッションファイルを作り直してください。
- LA NWM 2 で作られた .lses または .nwsys ファイルは LA NWM 2.4 で開けます。これらのファイルに 1.x または 2.x のプリセットが含まれている場合、当該プリセットをバージョン 3.x またはそれ以上に**必ず**置き換えてください。
- 本バージョンで作ったセッションファイル (.lses) は、以前のバージョンの LA NWM では使用できません。

プリセット

- LA12X にはバージョン 5.4 以上のプリセットを用いてください。
- プリセットバージョン 1.x または 2.x で作られたプリセットは、本バージョンの LA NWM を用いてプリセットバージョン 3.x 以上に必ず置き換えてください。
- プリセットライブラリーのバージョンが 4.x 以降の[K1][KARADOWNK1][K2_xx]プリセットは、プリセットライブラリーバージョン 4.0 未満の[K1][KARADOWNK1]プリセットとの互換性がありません。
- LA8 用プリセットライブラリーバージョン 4.0 未満の KARA、ARCS II、KUDO プリセットは、LA4X に対する互換性がありません。



互換性に関する問題は、古いプリセットを使っているユニットが含まれたセッションファイルを利用する際に発生します。当該ユニットのプリセットを LA NWM に搭載されているプリセットライブラリーで置き換え、セッションファイルを更新してください。

詳細は **LA NWM Optimization** 技術解説書を参照してください。

さらなる情報はダウンロードパッケージに含まれている**プリセットガイド**を参照してください。

さらなる情報はダウンロードパッケージに含まれている **LA NWM and firmware compatibility issues** 技術解説書を参照してください。

セッションファイルをロード中にユニットとの接続が切れた場合

セッションファイルのロード中にユニットとの接続が切れたことが**メッセージセンター**に示された場合、セッションファイをもう一度ロードしてください。

ユニコード以外の文字

セッションファイル名はユニコード文字を用いてください。(日本語は用いないでください。)